

### トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 竹林整備は僕たちの手で

### 『未来の家』の森林整備活動



竹林を整備するボランティアの方々



作業の後の屋食（豚汁）でひとときの休憩をする参加者



先方に見える竹林へ出発

【兵庫森林管理署】小雪が舞い散る平成24年2月11日、兵庫県三木市にある蓮花寺山国有林にたくさんの子どもたちの声が響き渡りました。

この日は、ボランティアグループ「未来の家」の活動日。当初30名の募集で予定されていたが、集まったのは、約100名。小学生から高校生までの子どもたちとその保護者たちが朝早くから集まりました。

主催者の挨拶のあと、中田神戸首席森林官から国有林のPRと竹伐採に関する諸注意を行いました。

この「未来の家」の活動が他のボランティアグループと違うのは、その主体が子どもたちであるということです。この日も保護者たちはサポートにまわり実際の作業は子どもたちが行いました。

高校生のお兄ちゃんたちを中心にグループ分けを行い、のこぎりや手袋などの装備を参加者に手渡し、一列になって現場に向かいました。

周囲に危険がないか確認して竹の伐採を行い、その後、低学年の子どもたちが、ちょっと大きめのヘルメットを気にしながら、慣れない手つきで伐採された竹の処理をしていきました。

「作業中止・・・気をつけて・・・危ないで、そっちに」

倒れるで」高校生のお兄ちゃんが大きな声で周りに伝えます。

「そう、こっちから順番に枝を切るんやで」中学生のお姉ちゃんが倒れた竹の処理を指導しています。

「なかなかしんどいなあ」、「やった～切れたわ」、「これ持って帰ってええかな」子どもたちは口々に話をしながら作業を行いました。

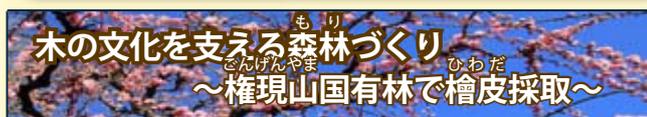
約2時間の作業で鬱そうとしていた竹林は、きれいに整備され、子どもたちの泥だらけの額には汗のしずくをつけて、白い息をはずませながら意気揚々と引き上げました。

その後、お母さんたちが作ってくれた豚汁をおいしそうにたிரけていつもとちょっと違う一日を過ごしました。

最後に未来の家の主催者である足立さんから「子どもたちが、自分で考え、自分で感じる。そのことが大事。」と締めくくり、未来の家の森林整備活動を終了しました。

兵庫森林管理署は、もっと国有林を子どもたちに感じてもらえる森林にできればと、考えさせられた一日でした。

## 地域ニュース



【和歌山森林管理署】全国各地で日本の伝統的な木造建築や祭礼行事、工芸など、木の文化を支える多くの伝統が継承されている中、和歌山森林管理署は「木の文化を支える森林づくり」の取組として、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と熊野参詣道」周辺の国有林で、世界文化遺産貢献の森林である新宮市の権現山国有林に「檜皮採取対象林」を設定し、檜皮の採取を行いました。

檜皮は供給先である京都市の全国社寺等屋根工事技術保存会が採取をするとともに、採取技術を持つ※「原皮師」の育成のための採取研修を兼ねており、2月



7日から3月2日までの間、指導者・研修生10名により檜皮60丸（1800kg）を採取しました。

今回採取した樹齢106年の檜皮は、保存会によれば「脂がのり、割れにくく、質が良い。」とのこと。半年程度、乾燥させた後に加工し、1年後には全国各地の国宝・重要文化財などの伝統的な木造建築物の屋根葺用に使用されます。

今後も引き続き、木造文化財等の修復に必要な檜皮の供給、原皮師の養成等のためのフィールドの提供を行うとともに、檜皮採取への理解を深めるため、地域住民等への普及啓発を図ることとしています。

※原皮師とは、<sup>ひわだぶき</sup>檜皮葺の材料となる檜皮を採取する人

関連ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/>

## 森林吸収源対策にチャレンジ!!

【山口森林管理事務所】我が国では、京都議定書の温室効果ガス削減目標6%のうち、3.8%を森林整備によって確保することを目標としています。国有林においても森林吸収源対策として、平成2年以降に手入れが行われていない森林において間伐などの施業を進めているところです。

山口県阿武郡阿武町の大葉山国有林<sup>おおばやま</sup>において、山口県OF会（森林管理署等の退職者）がボランティア活動として、つる切りと歩道修理を行いました。

同会は毎年、国有林で森林整備などの活動を行っていますが、この国有林はしばらく手入れされていなかったことから、今回は「森林吸収源対策に貢献」と銘打ち開催されました。

つる切りの作業場所までは、足場が悪く、急な山道を30分も歩かなければならない健脚コースとなっていて、平均年齢70歳と思しき先輩諸兄には少々過酷な条件といえますが、体力に自信のある若干名が志願し作業現地に向かいました。

自慢の健脚?でどうにか無事にたどり着きましたが、直径3cmを超える太い「つる」が何本も林木に巻き付いているのを目の当たりにし、一同絶句……。案の定、大変な作業となりましたが、悪戦苦闘の末、何とか予定どおり作業を終えることができました。



スギからんでいるツルを切っている様子



一方、残りのチームは、歩道に繁茂していた<sup>かんぼく</sup>灌木類の刈り払い作業に取りかかりました。久しぶりだったせいか、はたまた日頃の運動不足がたたったのか、最

初はなかなか作業勘が戻らない様子でしたが、さすがは昔取った杵柄、次第にペースが上がり、振り返るとプロも顔負けの立派な歩道が出来上がっていました。

両チームとも作業内容は容易なものではありませんでしたが、作業後の笑顔にはそれぞれ目標を成し遂げた達成感が充ち満ちていました。

最後に同会代表の西川さんから、「今回の活動は僅かではあるが森林吸収源対策に貢献でき、とても意義ある活動となった」との挨拶があり閉会となりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>



【京都大阪森林管理事務所】2月24日京都府京都市にある嵐山国有林において、「嵐山植林育樹の日」を開催しました。

この「嵐山植林育樹の日」は、名勝「嵐山」で、松枯れの拡大によりアカマツが減少するとともに、広葉樹の成長によりヤマザクラが被圧されつつあることから、嵐山の再生に向けて、昭和57年から毎年2月25日に嵐山保勝会と連携して開催している植樹行事で、今年で31回目となります。



参加者全員  
で記念撮影



参加者がスコップで木の根元に土を覆っている様子



当日は、嵐山保勝会より約30名、嵯峨中学校より宮崎幹也校長をはじめとする2名の教諭と、生徒会を代表して2年生13名が参加しました。

来賓として、浅葉嵐山モンキーパークいわたやま園長、深町京都大学准教授、三好京都府立大学助教、

石川嵐山保勝会会長にお越し頂きました。当所からは、外山所長ほか9名の職員が運営に当たりました。

開会式では、外山所長並びに石川嵐山保勝会会長から開会の挨拶があり、続いて、宮崎校長から外山所長に、生徒が国有林内で植栽するヤマザクラ3本の目録授与が行われました。

記念植樹の場所に移動し、防鹿柵を設置した中において、6本のヤマザクラを大きく育てとの願いをこめて丁寧に土を入れ、しっかり踏み固めました。

前日の雨で植樹場所はとても滑りやすい状況でしたが中学生達は頑張って植樹を行っていました。

また、中学生達は新聞記者の取材にも笑顔で応えていました。

記念植樹終了後、嵐山保勝会から参加いただいた方々には、平成21年度に植栽した箇所状況、植樹箇所設置した防鹿柵の効果についての説明を行いました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kyoto/>



【福井森林管理署】福井森林管理署では、昨年度発刊した、福井県あわら市にある北潟国有林をフィールドとした「森林・林業体験プログラム」を地域社会と連携して普及を図るため、普及協議会を4回にわたり開催しました。

その中で、プログラムの具体的な実践を図るための行動部隊の必要性が唱えられ、2月29日に普及協議会を母体とする「北潟の森協議会」が発足しました。



昨年度発刊された  
森林・林業体験プログラム  
(北潟国有林をフィールドとして)  
のリーフレット

設立総会では、会長に『あわらの自然を愛する会』の河田勝治さんが選出され、体の不自由な人を含む誰もが利用でき、自然との共生が可能な森を目指す、などの活動方針が承認されました。

同会は、今後、当署とふれあいの森協定を締結し、

除伐等の森林整備や自然観察会の開催、森林パトロールなどを毎年計画的に実施する予定です。



熱心な協議を重ね、年間計画(案)を検討している様子

関連ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/fukui/>

### 「オオクワガタの棲める森づくり」植樹作業

【箕面森林環境保全ふれあいセンター】大阪府箕面市にある、箕面国有林「エキスポの森」において、人工林からクヌギ等の落葉広葉樹林へ転換するため、平成22年3月から「オオクワガタの棲める森づくり」の植樹に取り組んで来ました。

平成24年3月7日の植樹作業には、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会から5団体18名と職員10名がスタッフとして参加し実施されました。



参加者全員で広葉樹の植樹をしている様子

鍬を持ち植穴を掘って丁寧に植樹している様子



明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の各団体や地域住民の方々、また各学校関係者などに協力して頂き、2年間かけて約4200本の落葉広葉樹が植樹されました。

今回の植樹で「オオクワガタの棲める森づくり」箇所での植樹作業はすべて完了することができました。

今後は、地域住民・ボランティア団体等に応援いた

だき、保育作業等を実施していくことにしています。

関連ホームページ  
[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)



### お知らせ

#### 山火事に注意しよう！

例年、冬から春にかけて、山では枯葉や枯草が多くなることに加え、空気の乾燥や季節風あるいはフェーン現象などの気象条件等から、山火事発生の危険性が高い時期となります。

山火事はいったん発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。

とりわけ、これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日にはたき火、火入れをしないなど、火の取扱には十分な注意が必要です。

平成24年の統一標語は「**忘れない山への感謝と火の始末**」です。

一人でも多くの方に山火事予防運動について、ご理解をいただき、山火事の未然防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 森林のギャラリー (局庁舎1階)

#### 【4月の展示スケジュール】

4/2~4/13

春の結び展2012

【結び遠會】

4/2~4/15 (土・日開催)

津山地区木材組合

【手にやさしくあたたかい木工品】

4/16~4/27

①高知県観光展

【高知県大阪事務所】

②心にググッとぐんま

【群馬県大阪事務所】

③リフォームに国産材を

【NPO法人 国産材住宅推進協会】

